

# 宮古島におけるアオドウガネ大発生経緯

(本文 14 ページ参照, 新垣則雄氏原図)



口絵① アオドウガネ幼虫の食害によるサトウキビの立ち枯れ被害



口絵② アオドウガネ成虫



口絵③ アオドウガネ幼虫



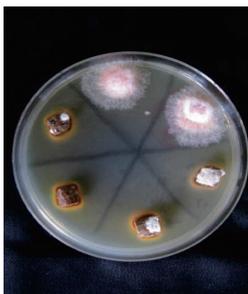
口絵④ クサトベラに集合する成虫

# PCR によるイチゴ萎黄病菌検出技術の生産現場での活用

(本文 50 ページ参照, 平山嘉彦氏原図)



口絵① イチゴ萎黄病の典型的な症状 a: 新葉の奇形 b: 道管褐変



口絵② 選択培地でのフザリウム菌の検出



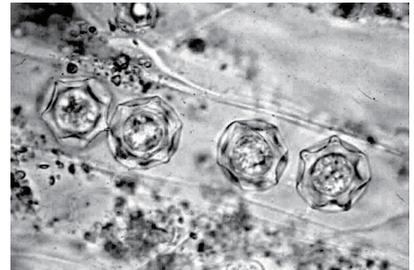
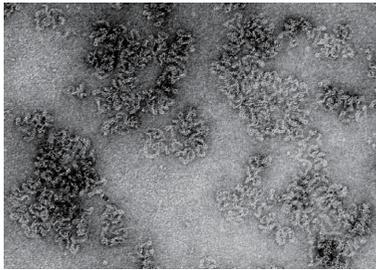
口絵③ ポット苗の根と培養土の採取



口絵④ 採取培養土の培養

# レタスビックベインミラフィオリウイルスとその媒介菌 *Olpidium virulentus* の土壌からの検出定量方法

(本文 23 ページ参照, 桃井千巳氏原図)



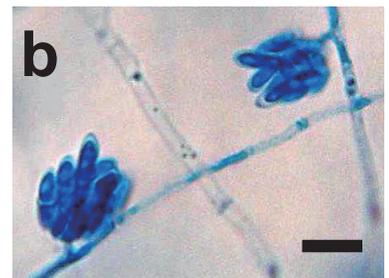
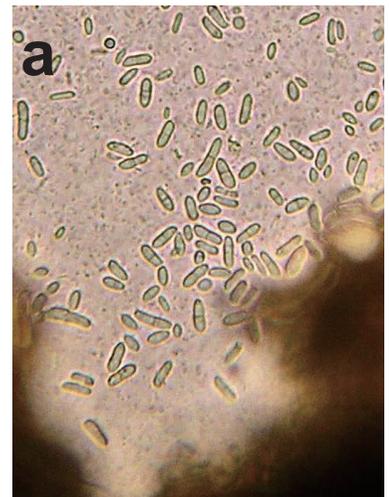
口絵① レタスビックベインミラフィオリウイルス粒子

口絵② レタスビックベイン病の葉の病徴

口絵③ *O. virulentus* 休眠胞子の顕微鏡写真

# カラー斑点病の発生と仏炎苞の被害

(本文 30 ページ参照, 宇佐見俊行氏, 海老原克介氏原図)



口絵① カラー斑点病の病徴

a: カラーの葉に発生した病斑. b: 仏炎苞に発生した褐色斑点.

c: 仏炎苞 (展開前) に発生した赤色斑点. d: 花茎に発生した赤色斑点.

口絵② カラー斑点病菌

a: 葉の病斑上に認められる分生子.

b: フィアライド上に形成された分生子 (ラクトフェノール・コットンブルーにより染色). バーは 10µm を示す.